

12. 学校給食センター別、給食人員及び職員数

令和3年5月1日現在(単位:人)

学校給食センター名	受配校	給食人員	職員数				
			総数	所長	事務職員	調理員	栄養士
はごろも学校給食センター	普天間小学校、普天間第二小学校、はごろも小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校	6,236	46	1	2	41	2
宜野湾学校給食センター	宜野湾小学校、長田小学校、志真志小学校、宜野湾中学校	3,204	24	0	4	18	2
大山学校給食センター	大山小学校	642	9	0	0	8	1

注：栄養士は県費職員である
調理員は委託業者である

資料：教育委員会

13. 小(幼)・中学校施設状況

令和3年5月1日現在(単位:㎡・%)

学校名	事項	校舎敷地		運動場敷地		校舎			屋内 運動場 面積	水泳 プール 面積
		現有面積		現有面積		必要面積	校舎保有 面積	保有率		
		保有面積	借用面積	保有面積	借用面積					
小	学 校 計	90,090	17,451	66,238	7,300	68,665	60,298	88	10,648	3,200
	普天間小学校	160	14,440	—	7,300	5,992	4,404	73	1,215	0
	普天間第二小学校	8,593	1,104	8,826	—	7,089	6,912	98	1,101	400
	大山小学校	5,826	—	8,829	—	7,029	6,586	94	1,173	400
	大謝名小学校	15,937	—	7,770	—	7,011	6,550	93	1,266	400
	嘉数小学校	15,180	—	7,027	—	9,113	7,720	85	1,215	400
	志真志小学校	9,961	—	12,292	—	8,501	7,720	91	1,238	400
	宜野湾小学校	13,823	64	5,804	—	8,185	7,219	88	1,295	400
	長田小学校	9,243	—	8,720	—	7,232	5,667	78	930	400
	はごろも小学校	11,367	1,843	6,970	—	8,513	7,520	88	1,215	400
中	学 校 計	50,248	—	40,669	—	30,332	30,506	101	5,203	1,600
	普天間中学校	14,210	—	9,015	—	6,113	7,224	118	1,335	400
	嘉数中学校	8,656	—	8,189	—	7,895	8,280	105	1,240	400
	真志喜中学校	15,376	—	13,038	—	8,854	8,170	92	1,550	400
	宜野湾中学校	12,006	—	10,427	—	7,470	6,832	91	1,078	400
幼	稚 園 計	14,094	1,893	—	—	6,829	6,688	98	—	—
	普天間幼稚園	—	1,893	—	—	604	574	95	—	—
	普天間第二幼稚園	1,626	—	—	—	648	683	105	—	—
	大山幼稚園	1,353	—	—	—	648	640	99	—	—
	大謝名幼稚園	2,136	—	—	—	604	749	124	—	—
	嘉数幼稚園	1,310	—	—	—	901	873	97	—	—
	志真志幼稚園	2,793	—	—	—	901	974	108	—	—
	宜野湾幼稚園	1,326	—	—	—	857	682	80	—	—
	長田幼稚園	1,060	—	—	—	604	556	92	—	—
	はごろも幼稚園	2,490	—	—	—	1,062	957	90	—	—
幼・小・中	合 計	154,432	19,344	106,907	7,300	105,826	97,492	92	15,851	4,800

注：普天間小学校の校舎保有面積は建替に伴う仮設校舎の面積

資料：教育委員会

14. 小学生・年齢別体位の推移（身長）

(その1)

各年度5月1日現在(単位:cm)

区分 年度	6才						7才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成28年度	115.3	115.5	116.5	114.7	114.9	115.6	120.9	121.3	122.5	120.6	120.8	121.5
平成29年度	115.0	115.5	116.5	114.2	114.9	115.7	121.1	121.3	122.5	120.6	120.8	121.5
平成30年度	—	115.8	116.5	—	115.1	115.6	—	121.1	122.5	—	120.8	121.5
令和元年度	—	115.6	116.5	—	114.8	115.6	—	121.9	122.6	—	120.8	121.4
令和2年度	—	116.6	117.5	—	115.9	116.7	—	122.1	123.5	—	122.2	122.6

(その2)

区分 年度	8才						9才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成28年度	127.1	126.8	128.1	126.8	126.7	127.2	131.7	132.4	133.6	132.7	133.0	133.4
平成29年度	126.4	126.9	128.2	126.4	126.6	127.3	132.6	132.3	133.5	133.3	133.1	133.4
平成30年度	—	127.2	128.1	—	126.8	127.3	—	132.2	133.7	—	133.4	133.4
令和元年度	—	126.8	128.1	—	126.9	127.3	—	132.8	133.5	—	133.1	133.4
令和2年度	—	127.6	129.1	—	128.0	128.5	—	133.7	134.5	—	134.2	134.8

(その3)

区分 年度	10才						11才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成28年度	137.6	137.8	138.8	139.2	139.8	140.2	144.4	144.3	145.2	146.1	146.4	146.8
平成29年度	137.1	137.8	139.0	139.6	140.0	140.1	143.9	144.1	145.0	145.7	146.4	146.7
平成30年度	—	137.7	138.8	—	140.3	140.1	—	144.3	145.2	—	146.0	146.8
令和元年度	—	138.5	139.0	—	140.8	140.2	—	144.0	145.2	—	146.6	146.6
令和2年度	—	139.4	140.1	—	141.3	141.5	—	145.8	146.6	—	148.1	148.0

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する可能性がある）。

15. 小学生・年齢別体位の推移（体重）

(その1)

各年度5月1日現在（単位：kg）

区分 年度	6 才						7 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成28年度	21.0	21.1	21.4	20.9	20.9	20.9	23.4	23.7	24.0	23.1	23.3	23.5
平成29年度	20.9	21.2	21.4	20.5	20.8	21.0	23.6	23.7	24.1	23.4	23.4	23.5
平成30年度	—	21.5	21.4	—	20.8	20.9	—	23.8	24.1	—	23.4	23.5
令和元年度	—	21.1	21.4	—	21.0	20.9	—	24.4	24.2	—	23.4	23.5
令和2年度	—	21.8	22.0	—	21.1	21.5	—	24.3	24.9	—	24.3	24.3

(その2)

区分 年度	8 才						9 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成28年度	27.0	26.8	27.2	26.8	26.4	26.4	29.9	30.3	30.6	30.1	30.2	29.8
平成29年度	26.6	26.8	27.2	26.1	26.5	26.4	30.5	30.2	30.5	30.7	30.1	29.9
平成30年度	—	26.9	27.2	—	26.6	26.4	—	30.2	30.7	—	30.6	30.0
令和元年度	—	26.7	27.3	—	26.9	26.5	—	30.6	30.7	—	30.5	30.0
令和2年度	—	27.9	28.4	—	27.4	27.4	—	32.1	32.0	—	31.1	31.1

(その3)

区分 年度	10 才						11 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成28年度	34.0	33.9	34.0	34.4	34.6	34.0	38.2	39.4	38.4	39.6	40.8	39.0
平成29年度	33.6	34.0	34.2	34.6	34.7	34.0	38.3	38.3	38.2	39.5	39.6	39.0
平成30年度	—	33.9	34.1	—	34.6	34.1	—	38.5	38.4	—	39.3	39.1
令和元年度	—	34.7	34.4	—	35.3	34.2	—	38.0	38.7	—	39.8	39.0
令和2年度	—	35.9	35.9	—	36.0	35.4	—	40.6	40.4	—	40.8	40.3

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する場合がある）。

16. 中学生・年齢別体位の推移（身長）

（その1）

各年度5月1日現在（単位：cm）

区分 年度	12 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成28年度	151.6	152.0	152.7	151.3	151.1	151.9
平成29年度	152.3	152.1	152.8	151.4	151.1	151.8
平成30年度	—	151.9	152.7	—	150.7	151.9
令和元年度	—	152.3	152.8	—	151.2	151.9
令和2年度	—	153.3	154.3	—	151.6	152.6

（その2）

区分 年度	13 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成28年度	159.2	159.4	159.9	153.8	153.7	154.8
平成29年度	159.2	159.3	160.0	153.9	153.7	154.9
平成30年度	—	159.4	159.8	—	153.6	154.9
令和元年度	—	159.7	160.0	—	153.5	154.8
令和2年度	—	160.1	161.4	—	153.5	155.2

（その3）

区分 年度	14 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成28年度	163.9	164.1	165.2	154.7	154.9	156.5
平成29年度	164.4	164.4	165.3	155.1	154.9	156.5
平成30年度	—	164.4	165.3	—	154.8	156.6
令和元年度	—	164.2	165.4	—	155.1	156.5
令和2年度	—	164.8	166.1	—	154.3	156.7

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する可能性がある）。

資料：教育委員会

17. 中学生・年齢別体位の推移（体重）

(その1)

各年度5月1日現在（単位：kg）

区分 年度	12 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成28年度	42.8	44.1	44.0	45.2	44.6	43.7
平成29年度	44.0	44.2	44.0	44.7	44.4	43.6
平成30年度	—	44.2	44.0	—	44.2	43.7
令和元年度	—	45.1	44.2	—	44.6	43.8
令和2年度	—	46.5	45.8	—	44.9	44.5

(その2)

区分 年度	13 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成28年度	49.6	49.4	48.8	47.1	47.6	47.2
平成29年度	47.9	49.2	49.0	48.4	47.7	47.2
平成30年度	—	49.7	48.8	—	47.8	47.2
令和元年度	—	49.7	49.2	—	47.6	47.3
令和2年度	—	51.1	50.9	—	47.8	47.9

(その3)

区分 年度	14 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成28年度	53.3	54.0	53.9	48.9	49.7	50.0
平成29年度	54.0	54.2	53.9	49.4	49.8	50.0
平成30年度	—	54.3	54.0	—	49.9	49.9
令和元年度	—	54.0	54.1	—	49.4	50.1
令和2年度	—	55.5	55.2	—	50.0	50.2

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する可能性がある）。

18. 中央公民

《室別利用状況》

年度	室別		集 会 場		研 修 室 (1)		研 修 室 (2)	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
平成28年度	2,292	47,791	719	26,193	123	1,991	399	5,027
平成29年度	2,269	47,698	815	25,949	125	2,125	379	4,818
平成30年度	2,248	45,673	749	25,551	186	2,710	420	5,527
令和元年度	1,988	40,453	677	22,928	160	2,339	364	4,664
令和2年度	1,099	9,835	63	904	221	1,845	361	3,514

19. 市民会館

《室別利用状況》

年度	室別	大 ホ ー ル			会 議 室		
		開館日数	利用日数	利 用 率	開館日数	利用日数	利 用 率
平成28年度		308	133	43.2	308	79	25.6
平成29年度		308	120	39.0	308	83	26.9
平成30年度		308	112	36.4	308	50	16.2
令和元年度		308	98	31.8	308	38	12.3
令和2年度		42	3	7.1	42	1	2.4

注：開館日数＝総日数－休館日（火曜日、年末年始）

資料：生涯学習課

利用日数には準備及びリハーサルを含む

令和2年度に長期間の改修工事を行った

20. 市立博物館来館者数

各年度末現在(単位:人)

年度	区分	来 館 者 数				
		合計	児童	学生	大人	
平成28年度		10,715	3,899	545	6,271	
年度	区分	来 館 者 数				
		合計	幼児	児童・生徒 (小・中)	学 生 (高・大)	大人
平成29年度		22,972	1,252	6,880	2,459	12,381
平成30年度		33,776	2,585	6,599	1,743	22,849
令和元年度		34,743	2,517	13,818	1,470	16,938
令和2年度		8,147	234	2,742	151	5,020

注：来館者数は区分を変更したため、平成28年度以前と接続しない

資料：市立博物館

令和2年度は改修工事や新型コロナウイルス感染症対策のため、休館があった

館 利 用 状 況

(単位:回・人)

調理実習室		視聴覚室		児童室		展示室		図書室	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
47	1,195	531	6,060	246	2,686	227	4,639	—	6,118
53	1,316	482	5,371	163	2,166	252	5,953	—	5,939
33	814	516	6,283	143	1,553	201	3,235	—	6,480
44	779	487	5,801	127	1,724	129	2,218	—	6,254
23	186	228	2,060	201	1,278	2	48	—	2,469

資料：中央公民館

利 用 状 況

《用途別利用状況》

各年度末現在(単位:件)

用途別 年度	総数	音楽会		演劇	舞踊		演芸	映画	式典	講演会	各種 大会	その 他	利用人員
		洋楽	邦楽		洋舞	邦舞							
平成28年度	85	18	7	5	0	6	16	2	7	14	5	5	66,127
平成29年度	69	16	8	6	1	0	10	2	4	14	6	2	54,400
平成30年度	71	8	15	3	0	3	21	0	1	5	6	9	52,755
令和元年度	57	14	13	12	1	1	0	2	2	2	5	5	41,825
令和2年度	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	318

注：利用件数は、数日間利用する場合でも1件とする

資料：生涯学習課

21. 市民図書館利用状況

各年度末現在(単位：冊・人・日)

区 分 \ 年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
蔵 書 数	図 書	322,439	323,876	326,584	329,606	327,313
	視聴覚	15,309	14,097	14,414	14,748	15,034
	雑 誌	7,225	6,017	6,066	6,430	6,021
	計	344,973	343,990	347,064	350,784	348,368
登 録 者 数 (うち市民)		26,602 (25,122)	26,455 (25,106)	25,122 (24,331)	26,194 (25,397)	27,720 (26,909)
開 館 日 数		271	267	270	255	221
年 間 利 用 者 数 (1日当たり利用者数)		92,601 (342)	85,271 (319)	85,138 (315)	78,286 (300)	52,165 (236)
年 間 貸 出 冊 数 (登録者1人当たり貸出冊数)		325,963 (12.3)	312,710 (11.8)	318,416 (12.7)	309,322 (11.8)	253,612 (9.1)
市民1人当たり蔵書数		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5

注：蔵書数（図書）には、絵画717点を含む

資料：市民図書館

22. 体育施設利用状況

その1 《使用料》

各年度末現在(単位:円)

施設名 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育館	17,034,010	23,368,770	24,939,630	25,221,440	15,038,150
野球場	2,937,150	3,500,820	3,952,280	3,144,970	2,564,090
屋内運動場	3,557,950	3,691,890	3,057,960	1,081,420	—
多目的運動場	—	—	—	5,471,030	8,862,250
グラウンド	1,401,720	1,699,100	2,369,800	2,099,920	388,760
計	24,930,830	32,260,580	34,319,670	37,018,780	26,853,250

資料:施設管理課

その2 《利用人数》

各年度末現在(単位:人)

施設名 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育館	132,197	131,897	163,787	185,593	58,653
野球場	49,472	53,997	58,008	40,079	11,556
屋内運動場	12,365	11,868	8,604	6,356	—
多目的運動場	—	—	—	2,240	35,689
グラウンド	41,103	41,405	45,990	35,987	14,611
計	235,137	239,167	276,389	270,255	120,509

注:令和元年10月9日に屋内運動場の解体工事完了
令和2年1月27日から多目的運動場の供用開始

資料:施設管理課

23. 屋外劇場利用状況

各年度末現在(単位:円・人)

区分 \ 年度	屋外劇場使用料	屋外劇場利用者数
平成28年度	6,305,480	18,729
平成29年度	4,799,700	19,971
平成30年度	3,229,840	18,630
令和元年度	3,945,810	26,167
令和2年度	1,149,430	3,643

注:令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントの中止があった

資料:施設管理課

24. 国・県・市の指定・登録文化財

市内に所在する文化財は、永く私たちの市民の祖先が生成発展させてきたかおり高い市民環境の一部であり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもあります。そのため、国・県・市では文化財保護法令や諸規則などを定めて、これら多くの文化財の中から市民にとっても重要なものを選んで指定・登録し、後世の子どもたちに残していくため保護を強めています。

国指定文化財

令和3年4月1日現在

名 称	所 在 等	内 容
ちゆんなーがー ①喜友名泉 (有形文化財〔建造物〕) 平成4年8月10日指定	喜友名： 県道81号線沿いの西普天間住宅地区内西端に所在する喜友名区の村泉（ムラガー）。ウフガーとカーグワーを合わせた名称。	ウフガーは一畳ほどの大きな石灰岩製の切り石で布積みを主として造られる。カーグワーは布積みと相方積みが併用される。イナグ(女)ガーとも呼ばれるカーグワーは明治22（1889）年に新造もしくは修造されたようである。
おおやまかいづか ②大山貝塚 (史 跡) 昭和47年5月15日指定	大 山： 国道58号線沿いジミーベーカーリーの裏手の美底森と呼ぶ山林にある遺跡。	昭和33（1958）年に賀川光夫氏と多和田眞淳氏により、沖縄県で初めて下の層は上の層よりも古いという「層位学」に基づいた発掘調査が行われた。縄文時代後期を代表する遺跡である。

資料：文化課

県指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おろくぼか ①小祿墓 (有形文化財〔建造物〕) 昭和33年1月17日指定	嘉 数： 戦跡として知られる嘉数高台の北側、比屋良川沿い西側の断崖中腹にある幅8.5m高さ2.4mの古墓。	岩盤を掘り込み、開口部を自然石と切り石を組み合わせた石積みで塞いだ古式の墓である。漆喰で塞いだ墓口を含む幅1.7m×高さ2.4mの範囲は取り外しが出来、葬儀の際には、遺体を載せた御轎（肩で担ぐ輿）ごと入れる。
おろくぼかないいしずし ②小祿墓内石厨子 (有形文化財〔彫刻〕) 昭和33年1月17日指定	嘉 数： 小祿墓に納められている輝緑岩（中国産）製の御殿型蔵骨器。銘文は、沖縄最古級のひらがな文字。	全体に浮き彫りが施されており、屋根には火炎宝珠と龍が、本体には花活けを持った二人の童子や連弁などがあしらわれる。「弘治七年 おろく大やくもい 六月吉日」の銘文がある。（弘治七年は1494（尚真18）年）
ぎのわんし もりのかわ ③宜野湾市森の川 (名 勝) 昭和42年4月11日指定 平成12年5月19日追加指定	真志喜： 森川公園内に所在する真志喜区の村泉（ムラガー）。蔡度王の出生地と伝わる奥間（屋号）の隣接地である森の川には湧泉があり、昔から有名な名勝地であった。羽衣伝説の舞台である。	地元ではムンヌカーと呼ばれる。1725（尚敬13）年、尚氏伊江家により石造で整備された。1957（昭和33）年には簡易水道の水源となり姿が変わったが、1967（昭和42）年の琉球政府による名勝指定により、修復工事が行われ現在の姿になった。

資料：文化課

市登録文化財

名 称	所 在 等	内 容
かみやま・あいちぬーるがー ①神山・愛知ヌールガー (有形民俗文化財) 平成25年3月28日登録	愛 知： 普天間飛行場の近く、あいのもり保育園の裏手側斜面に所在。	宜野湾ノロに関する湧泉であると伝えられ、戦前まで、神山集落の旧家が崇拝していたが、戦後より神山郷友会が崇拝し、愛知では、産井として崇拝されている。
あざぎのわんのねんじゆうさいし ②字宜野湾の年中祭祀 (無形民俗文化財) 平成26年8月15日登録	宜野湾： 土帝君例祭は旧暦2月2日、カーサレー拌みは旧暦6月25日、シマクサランは旧暦8月10日に行われる。	戦前まで字宜野湾が行っていた年中祭祀の一部で、集落が普天間飛行場に接収されたのちも、現在まで受け継がれ、宜野湾区自治会と宜野湾郷友会が合同で行う。

資料：文化課

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おろくぼか せきちようこうろ ①小祿墓石彫香炉 (有形文化財〔彫刻〕) 平成3年8月1日指定	嘉 数：小祿墓の墓口前に安置されている輝緑岩（中国産）製で高さ36cm奥行き23cm幅42cmの香炉。	正面に火炎宝珠（もしくは太陽）、裏面には麒麟、両側面には花生け、四方の角には獅子が浮き彫りされている。1806（嘉慶11）年に馮姓の士族により寄進される。
おろくぼか せきちようし ②小祿墓石彫獅子 (有形文化財〔彫刻〕) 平成3年8月1日指定	嘉 数：小祿墓の墓庭にある古い香炉の両脇に置かれた2体の凝灰岩製の復元高48cm幅12cm体長34cmの石獅子。	安置時期や目的は伝わっていないが、墓を守る獅子と考えられる。県内での例は少ないが、中国には「守墓神」といわれる獅子像がある。風雨による擦り減りで、表情等はわからなくなっているが、腰部には毛並みの表現が残る。
ましきさきまけもんじよ ③真志喜佐喜真家文書 (有形文化財〔古文書〕) 平成3年8月1日指定	真志喜：琉球王国時代の「謝名のろ」の生家である佐喜真家（屋号奥間）に伝わる古文書。18世紀後半の酉年から次の戌年の間に書かれたと考えられる。	首里王府に提出した文書の控えで、口上覚4、覚1、言上写1の合計6点が残る。内容は「謝名のろ職」の跡継ぎに関するもので、継承の手續きと経済的特権などを知ることができる。謝名のろは後に真志喜のろへと改称
めいじとちだいちようふぞくちず ④明治土地台帳附属地図 (有形文化財〔歴史資料〕) 平成3年8月1日指定	野 嵩：市役所保管の村図（大字図）10葉と宇地泊区自治会保管の字図（小字図）3葉。	明治政府による土地改正に伴う土地台帳の附属地図として明治30年代に作成された。王府時代に行われた地割制度に基づいて、土地区画と土地利用の状況が詳細に書かれる。
きゆなのいしじしぐん ⑤喜友名の石獅子群 (有形民俗文化財) 平成元年3月31日指定 平成25年3月27日追加指定	喜友名：喜友名区の旧集落の周りを取り囲む石獅子群。指定された石獅子は七体。伝承によれば石獅子より外側に分家による集落の拡大があると石獅子も動かした。	集落を守る獅子の数としては沖縄県内最多の七体で、他にヒージャーグーファーやウフブターと呼ぶ石体がある。それらは災厄が喜友名に入らないように「返し」として集落の入り口に置かれた。
がにくひーじゃーがー ⑥我如古ヒージャーガー (有形民俗文化財) 昭和51年4月2日指定	我如古：我如古区公民館の後方を流れる志真志川沿いの崖下にある区の村泉（ムラガー）。	1982（明治25）年、我如古の二人の石工の指導の下、半年間の工事が行われた。樋口などの石積みはあいかた積みで、水場までの悪路は岩盤を削って平石をはめ込んで階段とし、特に下から5段は自然の岩盤を削り出している。
ふてんまのししまい ⑦普天間の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	普天間：旧暦7月13・15日、8月15日に開催。古老の伝承によると400年ほど前に尚元王から村興しの神として普天間に贈られた。	普天間集落の災厄払い・繁栄・豊年満作を祈願。大きな首振り・四肢の屈伸・四方への威嚇の突きが多く取り入れられていることが特徴。尻揺き、ハエ取りのまねやマリと戯れるなど、細かい芸や演劇的な動作により構成される。
おおじゃなのししまい ⑧大謝名の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	大謝名：戦前は旧暦の7月15日と8月15・16日に開催されていた。現在は旧暦8月の十五夜に大謝名区公民館広場で行われる。	大謝名の獅子は雄で普天間の獅子は雌と言われていることから、「けんか獅子・男獅子」とも呼ばれる。獅子舞の所作は四方に二回、中央で三回囃みつく素朴で勇壮な踊りが特徴である。昭和51年に33年ぶりに復活した。
がねこすんさーミー ⑨我如古スンサーミー (無形民俗文化財) 平成7年12月27日指定	我如古：戦前は我如古平松の下で行われていたが、現在は我如古区公民館で旧暦3月3日以後の週末に開催。	我如古の女性達が豊年と子孫繁栄を願って行う年中行事。円形になって行われる舞踊で、スンサーミー、スーラキ節、今帰仁節の三曲の唄と、それに対応する踊りが指定されている。スンサーミーだけは、四つ竹を打ちながら踊る。
のだけいしだたみち ⑩野嵩石畳道 (史 跡) 平成元年3月31日指定	野 嵩：普天間二区から中城村登又区に抜ける県道29号線の左手斜面の石畳道。	近世琉球王国時代に整備された首里と間切を結ぶ公道（宿道）の一部。路面には直径30cm前後の石を敷き詰めて、勾配を10～16度に保っている。護佐丸・阿麻和利の乱に由来してスディバナピラ（袖離坂）とも呼ばれる。

資料：文化課

第10章 教育・文化

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
<p>のだけくしぬかー</p> <p>⑪野嵩クシヌカー (史 跡)</p> <p>平成元年3月31日指定</p>	<p>野 嵩 : 沖縄銀行普天間支店前の十字路を中城村向けに約300m進み、野嵩一丁目バス停近くに所在。</p>	<p>区民の共同生活用水としてだけでなく、ウマチーやウビナディ等の伝統行事の際には拝まれる大切な場所である。また、野嵩に収容所が設けられた際には、米軍の4-500名分のタオル、毛布、作業服等の洗濯場として使用された。</p>
<p>いさたけたうばるめいのしるべどて</p> <p>⑫伊佐「たけたう原」銘の印部土手 (史 跡)</p> <p>平成3年8月1日指定</p>	<p>喜友名 : バイブライン伊佐向けの山手側、普天間飛行場近くの佐渡山音楽教室の裏手にある。乾隆検地(1737~1750)に合わせて設置。</p>	<p>「印部土手」は見通しの良い場所にある崩落を防ぐために周囲を石(根張石)で囲んだ直径180cm高さ90cm程度の土盛。印部石は土地測量の際に基準となる図根点の一種で、原名(地名)と一文字(ひらがな・かたかな)が刻まれる。土手の中央に印部石が置かれた。</p>
<p>い さ はま しんぞうさあてんばしひ</p> <p>⑬伊佐浜「新造佐阿天橋碑」 (史 跡)</p> <p>平成元年3月31日指定</p>	<p>伊 佐 : 伊佐市営住宅の東側に延びる旧護岸のそばに立つ、「伊佐浜の碑」と呼ばれる石碑。</p>	<p>佐阿天橋が建設された経緯を記録した石碑。琉球王国時代「中頭方西海道」の公道整備の際に、北谷町北前区にあった佐阿天橋の新造を記念して嘉慶25(1820)年に建立された。</p>
<p>おおやまうたきひ</p> <p>⑭大山御嶽碑 (史 跡)</p> <p>平成元年3月31日指定</p>	<p>大 山 : 国道58号線沿いのジミーベーカー後方の伊波家(屋号)の聖地であるウガングワーに立つ石碑。</p>	<p>大山区の旧家の一つ伊波一門の由来と拝みについて記され、乾隆26(1761)年に当時の宜野湾間切の上級役人層等によって建立された。</p>
<p>にしもり ひき</p> <p>⑮西森碑記 (史 跡)</p> <p>平成3年8月1日指定</p>	<p>真志喜 : 県指定名勝である「森の川」近くのウガヌカタにある石門の裏手に立つ石碑。雍正3(1725)年に尚清王の子孫にあたる向氏伊江家が建立。</p>	<p>西森御嶽と森の川の石積み整備の完成を記念する石碑。碑文には城の大按司志良礼は奥間大親の子孫という伝承のある野国掟の娘であること、伊江家は毎年五月にウガヌカタと森の川を謹んで拝むことが記される。</p>
<p>おおやままやー がまどうけつせいせき</p> <p>⑯大山マヤーガマ洞穴遺跡 (史 跡)</p> <p>平成11年2月23日指定</p>	<p>大 山 : 普天間飛行場の大山ゲート近く、大山区の醴泉之塔の北隣に所在。</p>	<p>洞穴内からは生活道具や遺骨・蔵骨器が出土し、約3000~2000年前には墓、約1500年前と約700年前には生活の場、約200年前には墓として使用されたようである。市域の墓造りの移り変わりや葬り方を知る重要な遺跡である。</p>
<p>おおじやなめーぬかー</p> <p>⑰大謝名メヌカー (史 跡)</p> <p>平成3年8月1日指定</p>	<p>大謝名 : 大謝名区の村泉(ムラガー)で大謝名小学校の正門近くにある。泉に降りる25段の石畳道(カービラ)も指定されている。</p>	<p>洞穴泉を利用した湧泉で、大謝名の人々の生活用水であり、産水・若水・死水を汲む場所でもあった。正面は布積みと相方積みを用い間に三本の樋口を設ける。周囲は3段の野面積みによる堅牢な土留め。年に数回カーウガミを行う。</p>
<p>もとぶうどうんばか</p> <p>⑱本部御殿墓 (史 跡)</p> <p>令和3年2月25日指定</p>	<p>我如古 : 我如古交差点から県道34号線(宜野湾西原線)を西原側へ、しいの実保育園南側に所在する。</p>	<p>本部御殿墓は我如古に所在する亀甲墓で、第二尚氏王統第10代尚質王の六男・尚弘信、本部王子朝平を元祖とする本部家が掌握する墓である。墓眉の両端の反りは緩やかで、これまで市域で造墓年代が把握されている古式亀甲墓と類似する。</p>
<p>ふてんまぐうどうけつ</p> <p>⑲普天満宮洞穴 (名 勝)</p> <p>平成3年8月1日指定</p>	<p>普天間 : 旧琉球八社の一つ、普天満宮の境内にある洞穴で、洞穴内には拝所の奥宮が所在。洞穴の全長は280m、高さ4~6m、幅1~3mを測る。</p>	<p>洞内ではつらら石・石筍・石柱などの鍾乳石が発達している。入口付近には数万年前に絶滅したシカ類を含む厚い化石層が分布し、化石は洞内でも散見できる。また、洞内では土器も発見されており遺跡としても重要である。</p>
<p>おおじやなめーぬかーたんすいこうそう</p> <p>⑳大謝名メヌカー淡水紅藻 (天然記念物)</p> <p>平成3年8月1日指定</p>	<p>大謝名 : 上記の大謝名メヌカーの樋(水口)と湧き水の落ちる底石面に生育する。</p>	<p>川の上流から海水の混ざる河口まで幅広く生息するタニコケモドキは黒みを帯びた褐紫色で糸のような体は不規則に枝分かれする。小川や淡水と海水が混ざる河口近くでも育つオオイシノウは青緑色。県内でも生育分布が限定される。</p>
<p>うでなが さわだむし</p> <p>㉑ウデナガサワダムシ (天然記念物)</p> <p>昭和51年5月29日指定</p>	<p>市全域 : 上記の「森の川」後方のマヤーアブと野嵩一区にあったターバルガマと呼ばれる洞穴に生息。クモ形類ヤイトムシ科の小動物。</p>	<p>体長は5~6mmでメスはさらに小さい。体色は明るい灰褐色で眼は完全に退化。第一脚は非常に長く、感覚器の働きを持つ。1971年宜野湾市で初めて採取された。移動する力が極端に弱い。限られた環境や場所のみに住む。</p>

資料 : 文化課